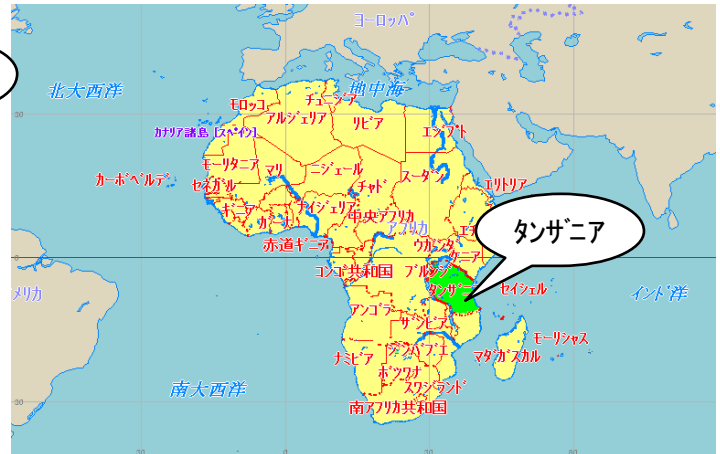


平成18年度1次隊 JOCV 土木
佐々木 新也

タンザニアは何処にあるの？



【ダルエスサラーム】

日本で東京にあたる所。
(しかし首都ではない)

【タンガ】

私の任地です。

タンザニア国ってどんな国なのでしょうか？

現在タンザニアは、共和国体制をとっています。どういうことかという、この国は一国2国家というやや複雑な関係で成り立っています。大陸側にタンガニーカ、島国ザンジバルの二つを併せてタンザニアとなっています。

現在の政府は、大陸側に本拠地を置くCCMという政党の党首が大統領を兼任し、タンザニアの代表となっています。そして、ザンジバルには、ザンジバルの大統領がいるのです。

力関係では本土が強いわけです。ということで、選挙になるとザンジバルやペンバ島では、やや荒れ狂う人達が出現します。

現在の大統領は、キクウェテ氏であります。一国2国家といってもとくに混乱はしていません。ちょっとややこしいだけで、同じ国なのに外国人は、本土からザンジバルに行くのにパスポートの提示が義務となっています。

面積は、94.5万 km²(日本の約2.5倍)で、人口は約3500万人、主に130の民族(バンツー系の黒人が97.6%)から構成され、その他にアジア(インド)系が0.6%やアラブ系0.3%の居住者もいます。

宗教は、イスラム教(31%)、キリスト教(25%)、伝統宗教(44%)である。海岸地方は8割がイスラム教といわれています。

言語は、スワヒリ語(国語)、英語(公用語)であるが、町ではほとんどの人々がスワヒリ語を話し、英語はあまり使いません。

私達のような外国人がスワヒリ語を話すと、すごく喜んでくれます。

タンザニアでの暮らし

① 通貨……タンザニアシリング(TSH)

レート : 1円=10TSH

② 物価……だいたい日本の10分の1

大卒(ダルエスサラーム大学:日本の東大)教員の初任給 126,000TSH

一般公務員 60,000TSH

ボトルウォーター 1.5ℓ……600TSH

コーラ 350ml……350TSH

ビール 500ml……850TSH

野菜 オクラ(6本ぐらい)……50TSH

キュウリ……100TSH

米 500g……400TSH

果物 マンゴー 大 一個……300TSH

小 一個……50TSH

オレンジ 一個……50TSH

③ 公共交通機関……**ダラダラ** どこまで行っても200~300TSH

トヨタハイエースをバス風になっている乗り物。客を詰め込むと20人以上は乗れる優れもの。車体は日本で走ることができなくなった物が殆どで、車体、タイヤはボロボロでたまに走りながらドアが落ちたりします、乗るにはそれなりの勇気と覚悟が必要です。

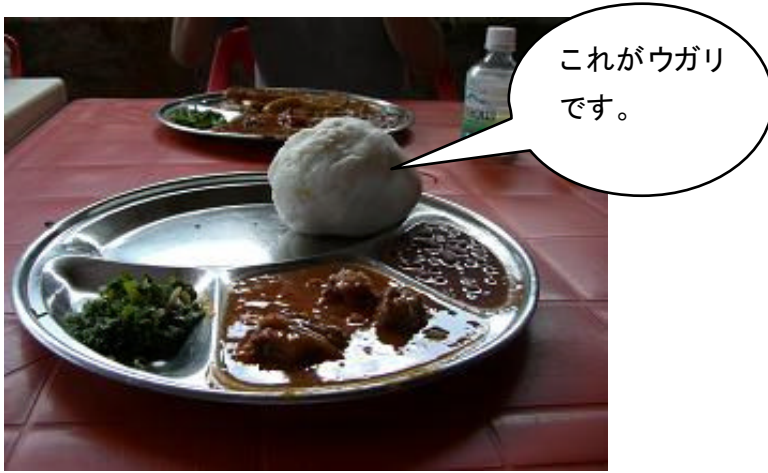
タクシー

贅沢な乗り物。初乗りは1,500TSHで夜間移動するとき徒歩は危険なのでタクシーを使っています。日本だと白ナンバーは自家用ですが、タンザニアではタクシー用です。

④ 買い物……ほとんど市場で買い物をします。定価という考えがないので、その都度交渉して買い物をします。

⑤ タンザニアの主食

(1) ウガリ……とうもろこしを粉にしてお湯とともに練り上げたもの。味は特になく、美味しいとは言えないが、毎日食べている隊員もいます。ちなみに私はほとんど食べません。



- (2) 食用バナナ……青いバナナ。これを煮込んで食べます、味はジャガイモのような感触で美味。写真は、私の家の庭にあるバナナの木です。



- (3) 米……タイ米のような米と、日本からの支援物資の横流しの古米とタンザニアで作られている米があります。

- ⑥ おかず……トマトを煮込んだスープに牛肉か鶏肉が入っていて、その他に豆とほうれん草のような野菜があります。

私の任地紹介(タンガ州タンガ市)



◎私の任地タンガ州タンガ市は、ダルエスサラームから海岸沿いに北へ380km(バスで5時間)にある、タンザニア第2の貿易港です。

町の中心部は舗装されていて、水、電気ともに安定し、過ごしやすい町であります。

しかし、タンザニア南部に行くと、水道がないため雨水を生活用水として使用し、電気も不安定で3日間まったく電気が無い日もあります。



◎ほとんどの食料を市場で買うことができる。

米、豆、トマト、じゃがいも、にんじん、玉ネギ、キャベツ、オクラ、にんにく、しょうが、マンゴー、パイナップル、すいか等々。

しかし、タンザニア南部に行くと野菜、果物がかなり不足しています。



◎タンガマーノと呼ばれていて、毎週火曜日と土曜日に開かれているマーケット。

生活用品がほとんどここで揃ってしまうマーケット。主に衣類、靴、寝具、台所用品、食器等々。ほとんどの品物が中国製で、日本からの援助？で送られてきた古着も売っています。

ここでも定価がないので、値段交渉が必要。



◎タンガ市は、インド洋沿いに面しているため、魚を食べることができますが、写真のように船に直接生きた魚を買いに行き、すぐに自宅に持ち帰り、刺身にして食べます。

※タンザニア人は刺身を食べるという習慣はありません。



◎タンガ市からダウ船(下の写真)で1時間のところにあり、8時から14時の干潮時にだけ出てくる無人島です。

2ヶ月に1度ぐらい、隊員10人ぐらいで遊びに行きます。シュノーケリングやビーチバレー、バーベキューをして遊んでいます。

白い砂浜と美しいサンゴ、そして青い海、青い空、1日いても飽きません。(1日いると海の底になりますけど・・・)



◎このダウ船で無人島まで行きます。

風(帆)で進むため到着時間は毎回違います、それもまたタンザニアのいいところです・・・

自 宅 紹 介



◎私の自宅です。

タンザニアの中では、すごくいい家に住ませて頂いています。

大家さんは同じタンガ市役所の教育局に勤めていて、この家の裏に住んでいます。タンザニア人が近くに住んでいるので、防犯の面でもすごく助かります。

ちなみに24時間体制で警備員が居ます。



◎寝室のベッドです。

マラリア原虫を体内にもっている、ハマダラ蚊に刺されておきる、マラリアを予防するため、蚊帳をして寝ます。

私がタンザニアに来て1年の間に、マラリアになったという報告を2件聞いています。



◎ほとんどの料理をこの灯油コンロで調理します。

インド製と中国製があります。

5,000Tsh(500円)ぐらいです。

灯油1リットル=1,000Tsh



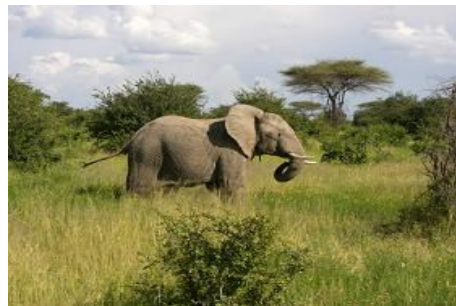
◎ろ過器です。

タンガ市の水は比較的綺麗なほうですが、安全ではないので、このろ過器を通し、さらに煮沸して料理などに使います。

隊員は全員持っています。

飲み水はミネラルウォーターを買って飲みます。

タンザニアといえばサファリ



◎タンザニアといえば動物ということで、少し紹介します。

タンザニアは14個の国立公園があり、その内4個の世界遺産の国立公園があります。

私が行った国立公園は、ミクミナショナルパークという所で、ダルエスサラームから1番近くにある(車で4時間)お手軽ナショナルパークです。国道がナショナルパークを横切っているため、写真のような『キリン注意』の看板も見つけました・・・タンザニアらしい看板です。

今回の旅で、私が見た動物たちは、キリン、シマウマ、インパラ、ライオン、ゾウ、イボイノシシ、カバ、バファロー等々を見ることができました。

とにかく動物との距離が近いので、動物に威嚇されることしばしば・・・。

まだまだたくさんの国立公園があるので、できる限り動物や鳥たちを見に行きたいと思っています。

活動紹介



◎タンガ市役所のエンジニア及びオペレーター、ドライバー、整備士さん。

日本や日本人に対する意識や理解は高く、非常に活動しやすい環境である。

このよい環境を作ってくれたのも、今までの歴代の隊員の方々のおかげであり、心より感謝したいと思います。



◎私の活動しているタンガ市役所土木部は主に道路、水路等の新設及び改修工事を中心に、調査、測量、設計、積算、施工業務を行っています。

土木部は実務経験20年以上の部長を初め、大学卒業者の5名の技術者がいます。

私の活動は、工事発注前の現場に同僚と一緒にいき、現地調査・測量・図面作成・積算をしています。

そして工事が発注されると工事現場までバイクで行き、品質の向上・安全意識の向上を図るため協力業者に指示を行っています。



私が日本で行っていた品質管理・安全管理をそのままタンザニアで行っても、必ずしもいい結果ができるとは限らないので、今タンザニアで行わなければならない最低限の品質管理・安全管理を同僚と共に日々行っています。



◎この写真は私がタンザニアに来て初めて、現地調査・測量・図面作成・積算・現場管理を行った工事です。

この工事は、土砂崩れが起こり、雨水を流す水路が壊れたため、水路を迂回して海まで流す工事です。

左の写真は、階段水路で、下の写真は、ヒューム管900mmを地面から4m下の所に据えている写真です。

(日本と違って機械等がないので、すべて人力です。)



★タンザニアに来てもうすぐ1年になりますが、大きい病気もなく元気で過ごしています。

夕方になると裸足の子ども達が、布で作ったボールでサッカーをし、自転車のホイールやタイヤを転がして遊んでいます。ずっと昔の日本の子どものように遊んでいます。

そして、ママ達が外で夕食の準備をしていて、子ども達の笑い声と、ママ達の会話が聞こえてきて、仕事を終えて一番心が落ち着く時間です。

活動の方も良い環境に恵まれて、のこり1年私にできることを1つでも多く、タンザニアの人々に伝えたいと思っています。2年の活動終了時に後悔することのないように、今できることを一生懸命頑張ります。

日々の生活は急いだりすることなく、ゆったり過ぎていきます。時間は、日本よりゆっくりと流れていきます。

生きることの喜びや誇り、そしてエネルギーをタンザニアの人々からたくさんもらっているのです、私にできる恩返しをして、日本に帰りたと思います。